



からしだね

2015年
1月号 (501号)

キリストの受難
カトリック池田教会

共同宣教司牧：畠 基幸神父・松本 一宏神父
協力司祭：デニス・マックゴワン神父
住所：〒563-0041 池田市満寿美町9-26
TEL : 072-751-2400 FAX : 072-753-4624
URL(ホームページ) :
http://www.wombat.zaq.ne.jp/catholic_ikeda/



姫路城にある黒田官兵衛の陣羽織と伝えられるもの

巻頭言	2	ガラスケースの言葉	2
待降節の黙想会	3	待降節黙想会感想	3
もみじ祭り	4	クリスマスチャリティコンサート	5
クリスマス会	6	宝塚黙想の家から	7
典礼委員会から	7		

表紙写真 撮影：延原 泰子

※ 聖堂入り口で配布しているものからの抜粋版です
完全版をご希望の方は、お近くの広報委員までお問い合わせください

巻頭言

三つの小さいもの

デニス神父

次の三つの小さいものには繋がりがあると思います。このあいだルルドに巡礼したとき、ゴミサのなかでノーウッチという町のジュリアーナについて話しました。ジュリアーナは14世紀のイギリスに生きた「隠修女」でした。隠修女というのは今はなくなった修道生活で、彼女たちは町や村の教会のそばに建てられた隠修室に「封印」されて一生をすごしたのです。イエスは彼女の手へーゼルナッツ（ドングリほどの大きさ）くらいの小さなものを乗せました。「これは何でしょう？」と考えた彼女は、「作られたものすべてなのね」と答えを出しました。木の実が小さいのにつぶれなかったことを不思議に思ったからです。「神さまが愛してくださるから今も、いつも丸く保たれているのね。すべてのは神の愛によって始まるのだから。」「最初に神がつくられ、二つめに神は愛してくださり、三つめに神は生かし続けられる、と」

ジュリアーナは困難な時代を生きました。子どもの頃はペストがヨーロッパに広がり、人口の三分の一が死に絶えました。イギリスとフランスは長く戦争していました。それでもキリストの愛を信じたジュリアーナは言いました「罪はなくならないけど、すべては良くなる、すべては良くなる、あらゆることが良くなる」そこまで話した私は、巡礼のみんなにへーゼルナッツをあげたのです。

次に考える小さいものはベツレヘムの馬小屋のまぐさ桶に寝かされたマリアさまの赤ちゃん。わたしたちもジュリアーナと同じように信じています—赤ちゃんが宇宙の主であることを。わたしたちが住んでいる地球は広い銀河系の一角にあります。地球のような星がどれくらいあるかと聞かれた天文学者は「世界の海の砂ほどの数もあります」と答えました。宇宙にはほかにも「銀河系」がたくさんあるそうです。御言葉である御子によってすべて造られたのです。

「御言葉はマリアさまの腕に抱かれた赤ちゃんになり、小さいものの味方になるために、神のみ子は小さい者、弱い者の味方になったのです」

もうひとり、お母さんの腕に抱かれた赤ちゃんがハイチに生まれました。女の子でしたが、お母さんは隠れて生んだのです。父親とボーイフレンドが中絶させようとしたから。十代の若いお母さんは夜にフレッシュ神父さまの病院の玄関に赤ちゃんを置いて帰りました。朝になって赤ちゃんが見つかったのですが、雨と寒さ、それに恐ろしい蟻のために衰弱して亡くなりました。この赤ちゃんは助けられませんでした。この病院では多くの赤ちゃんが助けられました。

リック・フレッシュ神父さまは御受難会のメンバーで、ハイチに宣教師として働きに行きました。しかし、ハイチの貧しさに気がつき、アメリカに帰ってお医者さんになって今度は神父兼医者になってハイチで働くようになりました。子どもの病院をつくったのです。子どもたちは無料で治療が受けられます。

(インターネットでリック・フレッシュ神父の病院について調べることができます。"St. Luke Foundation for Haiti." (info@stlukehaiti.org) オンライン献金も送ることができます。

1月のガラスケースの言葉

順境の日には喜び

逆境の日には考えよ

コヘレト 7の14



待降節の黙想会

サレジオ会の前田崇史神父様が
「『待つ』こと」というテーマで
ご講話くださいました。

目覚めて『待つ』



待降節黙想会感想 (2014. 11. 30)

- ☆ありがとうございました。感謝します
待つ→忍耐と神と話す時間です。
自分が日々黙想する“ことば”です。
とても聞きやすく、みやすい語り方、感謝します。
- ☆とても わかりやすいお話でした。
子どもの為に話をする使命の修道会よりお越しの神父様で池田の子ども達は、
よい機会に恵まれたと思います。聞く場所が後ろだったのは残念でした。
お説教の時だけ子ども達が移動し前の席にすわるのがよいかもしれません。
この教会に、私の住む地にそして家族に主の再臨を心から願います。
神父様が大島育ちの良さを大阪で失いませんように。
有難うございました。
- ☆神父様のゆったりとした口調が静かに胸のなかに響きました。
「待つこと」の準備を教えてくださいありがとうございました。
美しい音楽も聞かせてくださり疲れた心と身体が癒されました。
ありがとうございました。
- ☆子供の頃から教会に60年以上通っているのに、クリスマスの意味を改めて
認識する講話でした、私は子供のころからのほんわかした信仰だったなあと
反省致しました。
待つ=キリストの再臨の意味をこの機会に考えます。
- ☆聖霊よ来りたまえ
心のしみる音階
簡潔な的を得てお話すばらしかった
- ☆待つこと。
キリストに出会ってから待つことは楽しみとなりました。
待つことの先に希望があるからです、
毎日の生活は希望の実現への行程であると思っています。
- ☆とてもいいお話でした。
立派な若い神父様が育っていることを嬉しく思います。





第39回 クリスマスチャリティコンサート (12月7日)

今年のチャリティコンサートは、教会でオルガンを担当してくださっているピアニストの越知晴子さんをお願いしました。

越知さんはピアニストでいらっしゃいますが、オペラのお仕事をされていて、そこで知り合われたソプラノの白石優子さんと一緒に素晴らしいコンサートをしてくださいました。

当日はとても寒い日にもかかわらず、約140名のお客様にご来場いただきました。越知さんのオルガンと白石さんの歌による教会音楽の演奏に始まり、一部はオルガン独奏とピアノ独奏、二部は白石さんの日本歌曲やオペラ・オペレッタのARIAという構成でした。

越知さんのオルガンやピアノの演奏は、これが普段私たちが日曜日に聞いているのと同じオルガンなの？ピアノなの？と思うほど、素晴らしい音を響かせてくださいました。

また、白石さんのソプラノは、さすがオペラ公演でタイトルロール（主役）を演じられる方だと思わせる迫力で、その美しい歌声に聖堂中が鳴り響き、外を通過していたご家族連れが思わず足を止めて玄関まで入って聞きいっていらっしゃったとか。お二人のお蔭で、本当に感動的な演奏会になりました。ありがとうございました。

なお、収益ですが、チケット売上、当日の堂内募金などを合わせた収入から、出演者謝礼・チラシ等の印刷代などの演奏会経費、そして、教会経費を差し引いた85,000円を、社会活動委員会に委託して東北大震災への支援等に充当させていただきます。

皆様のご協力に心から感謝いたします。



来年はいよいよ記念すべき第40回です。記念となるようなプログラムを企画中です。ので、来年もたくさんの皆様にご来場いただければ幸いです。

(チャリティコンサート実行委員会 鋤納 美佐子)





2014年12月14日クリスマス会



しずけき
1. 静けき真夜中 貧しうまや
神のひとり子は
み母の胸に
眠りたもう やすらかに



宝塚黙想の家から 黙想会のお知らせ

■ 日帰り黙想会

1月22日(木) 10:00~15:30 指導：山内十束神父

1月23日(金) 10:00~15:30 指導：山内十束神父

■ 週末黙想会

1月24日(土) 17:00 ~ 25(日)15:30 指導：山内十束神父

各黙想会、費用等のお問い合わせは「宝塚黙想の家」まで。 ☎0797(84)3111



典礼委員会から

からしだね12月号に掲載した日程に一部変更がございましたのでお知らせします。

2015年信徒奉仕職養成コースは、下記日程で始まります。

日時・開催場所

第1回 1月31日(土) 15時~17時 高槻教会

第2回 2月14日(土) 15時~17時 箕面教会

第3回 2月28日(土) 15時~17時 池田教会

第4回 3月14日(土) 15時~17時 吹田教会

第5回 3月28日(土) 15時~17時 吹田教会

募集人数：各小教区から5~6名程度

『みんなで担う「信徒奉仕職」』をもとに分ち合いを中心に指導司祭出席の上で信徒奉仕職養成委員会のメンバーが進行役を務めながら行います。

カトリック信者の共通理解を学べ、これから行われるさまざまな養成コース参加に必要となりますので奮ってご参加ください。

参加ご希望の方は、神父様・典礼委員におっしゃって下さい。



編集後記

からしだねは先月、静かに500号を迎えましたが、それは私が編集に携わった最後の号になりました。335号から15年間、いろんな失敗もりましたが、毎月、多くの方々に助けていただき、あまり嫌な思いをすることもなく(忘れただけ?)、ここまで続ける事が出来ました。幸い私の後任を引き受けてくださる方も現われ、年内は一緒に編集するつもりでいましたが、最後の3ヶ月は無理からにバトンタッチしたような感じになって、自己嫌悪に陥っていました。でも「物事は変遷するもので、時が来れば母から離れ自分でやっていかなければならない時が来る」と言われて救われました。これからは新しいからしだねに読者としてつながってきたいと思います。池田教会にもしょっちゅう現れると思いますので、今後ともよろしくお願ひします。

(小さなみい)

